

令和7年度岩倉市当初予算案について

1 全体の特徴

市長就任3期目の最初の当初予算案となります。まちづくりの目標を「住むなら岩倉！子育て・健幸・安心なまち3.0」とし、これまでの目標を更にバージョンアップするとともに、新たに副題として『「ふれ愛」広がるウェルビーイングなまちづくり』を掲げました。コンパクトで人と人との距離が近く、「ふれ愛」や絆が生まれ、広がりやすいという市の特色を生かし、まち全体で幸せを感じるウェルビーイングなまちを目指します。

令和7年度当初予算案での主な事業は次のとおりです。（ページは新規主要一覧）

○令和8年4月の開園に向け、石仏公園のサッカーグラウンドや球場の整備を進めます。

721,149千円（P.30）

○教育環境と避難所機能を向上させるため、全ての小中学校の屋内運動場と両中学校の武道場に空調設備を設置します。675,875千円（P.42）

○五条川小学校区統合保育園の実施設計業務や用地造成工事を行います。121,811千円（P.20）

○名神高速道路スマートインターチェンジ設置検討事業を継続して実施します。47,754千円（P.27）

○リサイクルの推進のため、これまで破砕ごみとして回収していたプラスチック使用製品廃棄物のうち、プラスチックのみでできた製品を令和7年4月からプラスチック製容器包装資源と一括で回収します。20,685千円（P.12）

○議会にタブレット端末を導入し、議会資料のペーパーレス化を進めます。8,052千円（P.1）

○「岩倉市こどもまんなかアクション」による様々な支援を継続するほか、子どもたちや子育て家庭、これから子育てを行う人を地域ぐるみでサポートする機運を高めるため、子育てに関するシンポジウムを開催します。1,800千円（P.18）

○子育て家庭支援の充実のため、里帰りなどの際にも産後ケア事業が利用できるよう助成対象の拡大を行います。190千円（P.15）

○パートナーシップ・ファミリーシップ宣誓制度を導入します。63千円（P.9）

○国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用し、次の事業を行います。

- ・水道料金（基本料金4か月分）の免除 53,099千円（P.33）
- ・キャッシュレス決済ポイント還元（10%）事業 22,750千円（P.22）
- ・学校給食1食当たり30円分の食材料費の支援 20,513千円（P.45）
- ・補助率2/3・限度額5万円の防犯・防災対策費の補助 10,000千円（P.5・7）

2 一般会計

令和7年度一般会計予算額は199億2,000万円で、令和6年度当初予算176億5,000万円に対し、22億7,000万円、12.9%増と過去最大となります。

【歳出】 目的別予算で増減の多い科目

△減額の多い科目（千円、%）

款	令和7年度	比較	前年比	減の要因
11 公債費	1,174,087	△ 32,744	△ 2.7	借入事業数約150種類のうち、令和6年度末で償還完了するもの(11事業)と令和7年度から元金の償還が始まるもの(7事業)との差異による減。

○増額の多い科目

款	令和7年度	比 較	前年比	増の要因
3 民生費	9,008,735	802,955	9.8	五条川小学校区統合保育園整備事業の減の一方、医療・介護・障がい福祉の給付費や、児童手当制度の改正にあわせて児童福祉手当の増。
9 教育費	2,301,424	801,359	53.4	小中学校屋内運動場等空調設備設置事業の増や、史跡公園の竪穴住居の屋根茅葺き替え修繕、岩倉南小学校西館・南館大規模改修事業の皆増。
2 総務費	2,109,878	340,559	19.2	自治体の情報システムの標準化・共通化対応に係る経費の増や、次世代高度情報通信ネットワーク設備の更新に伴う経費の皆増。

【歳入】 市 税 71億9,005万円（前年比 1億475万円増、 1.5%増）

（内訳） 個人市民税 29億2,750万円（前年比 30万円減、 0.01%減）
 法人市民税 2億9,760万円（前年同額）
 固定資産税 30億1,865万円（前年比 9,205万円増、 3.1%増）
 軽自動車・たばこ・都市計画税 9億4,630万円（前年比1,300万円増、 1.4%増）

【主な基金残高】

財政調整基金 15億7,200万円（6年度末）→12億5,200万円（7年度末）
 減債基金 7億1,900万円（6年度末）→2億1,900万円（7年度末）
 公共施設整備基金 6億1,200万円（6年度末）→5億9,700万円（7年度末）

【市債残高】

89億6,000万円（6年度末）→ 92億6,800万円（7年度末）

3 特別会計等

・ 令和7年度岩倉市当初予算の概要 4～34ページ